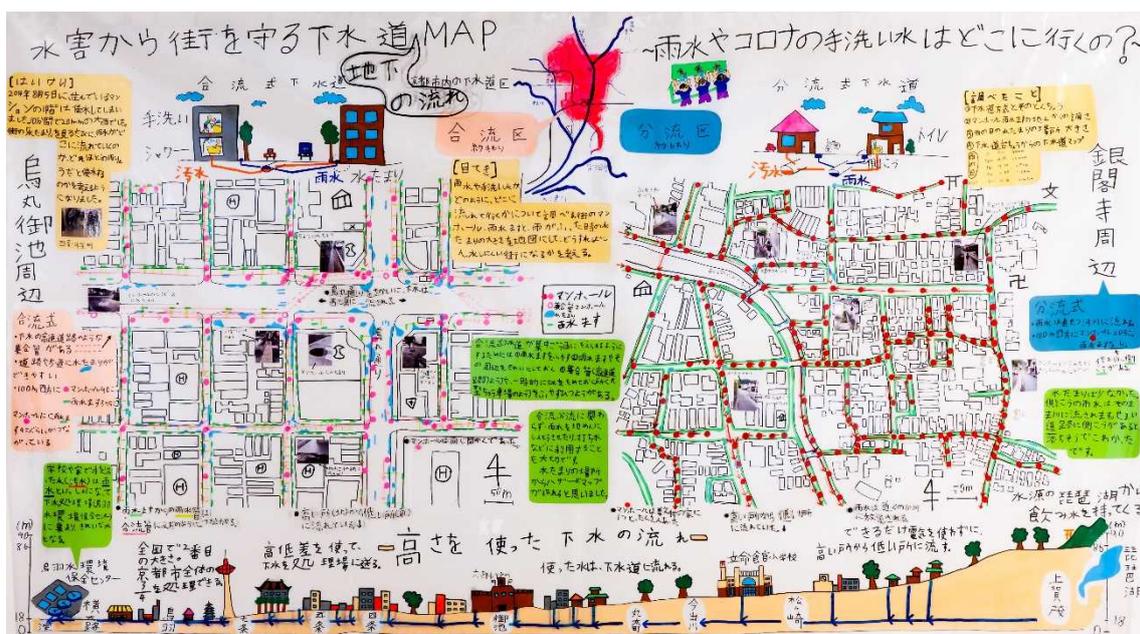


第 2 4 回全国児童生徒地図優秀作品展受賞者及び作品の紹介

国土交通大臣賞

「水害から街を守る下水道 MAP～雨水やコロナの手洗い水はどこに行くの?～」

立命館小学校 3年 松井 葵 (まつい あお)



作品主旨文

豪雨の後に、住んでいるマンションの1階が浸水しました。京都の街中では珍しくないことを知り、雨水やコロナの手洗い水などが、どう流れて行くのかを調べました。はじめは雨が降った時の水たまりを記録し、柵とマンホールを地図にしました。地下にも下水の地図があることを知り、重ねました。また下水道方式が違う所で、良い点と悪い点を比べました。下水は高さを使って流れ、どこで、どうして水があふれるのかが分かりました。

講評

被災したことをきっかけに取り組んだ作品で、烏丸通を境に東西で水の流れが違うことを発見した点や、平面図と断面図を組み合わせているところが小学3年生としては素晴らしい。

シートを利用した手動のGISのような重ね合わせの工夫が面白い。

自らの経験から抱いた疑問を粘り強く何年かにわたって探求して調べて地図に表した。表した地図を利用してなぜ水があふれたかという疑問を解決したところが優れている。

文部科学大臣賞

「先人の貴重な文化遺産 旧赤穂上水道」

兵庫県赤穂市立城西小学校 6年 畑中 彩希 (はたなか さき)

先人の貴重な文化遺産★旧赤穂上水道

The poster is a comprehensive guide to the old Akaho water supply system. It includes a central map showing the city's layout and the water supply network. Key features highlighted include:

- 赤穂城下町** (Akaho Castle Town): The origin of the water supply system, built on a hillside.
- 熊見川** (Kumigawa): The source of water, which is filtered and distributed.
- 石井** (Ishii): A key location in the water supply system.
- 山手** (Yamate): Another important location.
- 水車** (Waterwheel): Used for water intake and distribution.
- 配水管** (Distribution pipes): The network of pipes that carry water throughout the city.
- 貯水タンク** (Water storage tanks): Used to store water for distribution.
- 浄水場** (Water treatment plant): Where water is purified before distribution.
- 水道** (Water supply): The overall system that provides water to the city.

The poster also includes historical information and technical details about the system, such as the materials used for pipes and tanks, and the methods used for water intake and distribution.

作品主旨文

400年以上前、赤穂では井戸からも塩水が出たため、千種川から水路をひきました。旧赤穂上水道のすごいところは、侍屋敷から町屋にいたるまで、各戸給水されたことです。先人たちの努力のたまものである旧赤穂上水道の歴史と功績があってこそ、現代にも引き継がれていることを知り、先人の貴重な文化遺産の旧赤穂上水道をもっと皆にも知ってもらいたいと思います。

講評

過去と現在の情報について地図を使って比べたところが地図の使い方として見事であった。

色分けをしてわかりやすい地図にしようという工夫が見られ、広域図と詳細図を組み合わせてあるところが優れている。

昔の人がどのように水路を引いたかをよく考察しており、先人の努力・貢献に対する尊敬と郷土の文化に対する誇りが感じられる作品である。

審査員特別賞

「～小さな生命でも大切に～」

滋賀県湖南市立石部小学校 5年 米崎 仁翔（よねざき じんと）



作品主旨文

動物が大好きなぼくは、テレビ番組で見る保護犬や殺処分の事がずっと気になっていました。今回、実地見学をし、インタビューをして知り学んだことは、やっぱり命を大切にするということです。これを見て一人でも多くの人が動物愛護の気持ちをもってほしいです。

講評

犬や猫に対する自分の思いを地図化することで社会に訴えている作品であり、地図を通して表現し主題図として説得力がある。

犬・猫の殺処分というこれまでにないテーマを果敢に取材しておりジャーナリスト精神を感じる。